

1 8 局地的な集中豪雨等に備えた治水対策及び浸水対策の推進

(国土交通省)

治水対策及び浸水対策を着実に推進し，局地的な集中豪雨等の災害から市民の生命・財産・暮らしを守るため，次のとおり求めます。

提案・要望事項

- (1) 都市基盤河川整備及び下水道の雨水幹線等の浸水対策施設整備に対する交付金の増額
- (2) 準用河川及び普通河川の改修に対する補助要件の緩和
- (3) 河川及び排水機場の維持管理に必要な国庫補助制度の創設

局地的な集中豪雨等に備えた治水対策及び浸水対策の推進

京都市は土地利用が高度に進んでおり、市内を流れる河川の沿川の住宅密集地や、地下街などの地下施設が集まる地区で、万が一、溢水等の被害が発生した場合には、市民の財産の損失のみならず、都市機能の麻痺や水難事故など、市民生活に甚大な被害をもたらすことになるため、**河川の改修や適切な維持補修、雨水幹線等の整備といった安全対策を講じ、浸水被害を未然に防ぐことが重要**

(1) 都市基盤河川整備及び下水道の雨水幹線等の浸水対策施設整備に対する交付金の増額

京都市では、18河川の指定区間について都市基盤河川としてきめ細かい治水対策を進めるとともに、市街地における浸水対策を進めているが、近年多発する大雨や局地的な集中豪雨に早急に対応する必要がある。

総合的な治水対策に係る都市基盤河川の改修や雨水幹線等の浸水対策施設の整備のスピードアップに向け、**交付金の増額が必要不可欠**



(2) 準用河川及び普通河川の改修に対する補助要件の緩和

市民のくらしを守るため、市民に身近な河川である市管理河川の準用河川や普通河川の治水安全度を向上させる必要がある。

準用河川の改修事業は、4億円未満の事業は対象外であり、また、普通河川改修は対象外であるため、**補助要件の緩和が必要**

<参考>本市における河川の状況

種別	細別	管理者	河川数	延長(m)
一級河川 (河川法適用)	直轄河川	国土交通大臣	5	42,179
	指定区間 (都市基盤河川改修対象区間)	京都府知事 (工事・維持の代行:京都市長)	53 (18)	318,270 (29,875)
準用河川 (河川法適用)		京都市長	31	49,993
普通河川 (河川法適用を受けないもの)		京都市長	291	438,512
計 (京都市管理分)			380 (340)	848,954 (518,380)

(3) 河川及び排水機場の維持管理に必要な国庫補助制度の創設等

- ①一級河川等の法河川を含め、河川の護岸補修やしゅんせつ等の維持管理は、国庫補助制度がない。
- ②また、京都市が管理する36箇所の排水機場は老朽化が進んでおり、早期に耐震化を図るとともに、適切な維持管理が必要であるが、国の補助制度は一級・二級河川に係る排水機場のみが対象

護岸補修等の**河川の維持管理**や**準用河川等に係る排水機場の維持管理も対象となる国庫補助制度の創設が必要**

